

DOJIN

R18

成人向け

遊びのつもり だったのに (中編)

モノクロイド

Monochroid

登場人物

高篠 優里奈（たかじょう ゆりな）

母親が自●した過去を持つ。クラスの中で人気が高く、人当たりも良いため彼女を好いている男子は多い。

【幼いころの一幕】

高篠優里奈は、幼い頃に父親を亡くし、母親と二人で生活していた。

ある時を境に、母親が仕事でお世話になつていくという男と食事に出かけることが多くなった。

少し寂しい思いをしながら、一人ご飯を食べる優里奈は、久しぶりに見る幸せそうな母親を思い浮かべ我慢するのであった。

早乙女 忍（さおとめ しのぶ）

厳しい父親のもとで育っており、私生活のほとんどを勉強して過ごす。

優秀な弟（双子）がいる。

前回のあらすじ(前作の主人公は早乙女ですが、あらすじは高篠視点で書いています)

早乙女 修一(忍の父親)に出会った高篠の母は結果だけを言えば自殺してしまった。
しかし、優里奈本人は修一が追い込んだ様なものだと考えていた。

当時は、年齢的にも証拠を掴むどころではなく、復讐心だけが精神を犯していた。

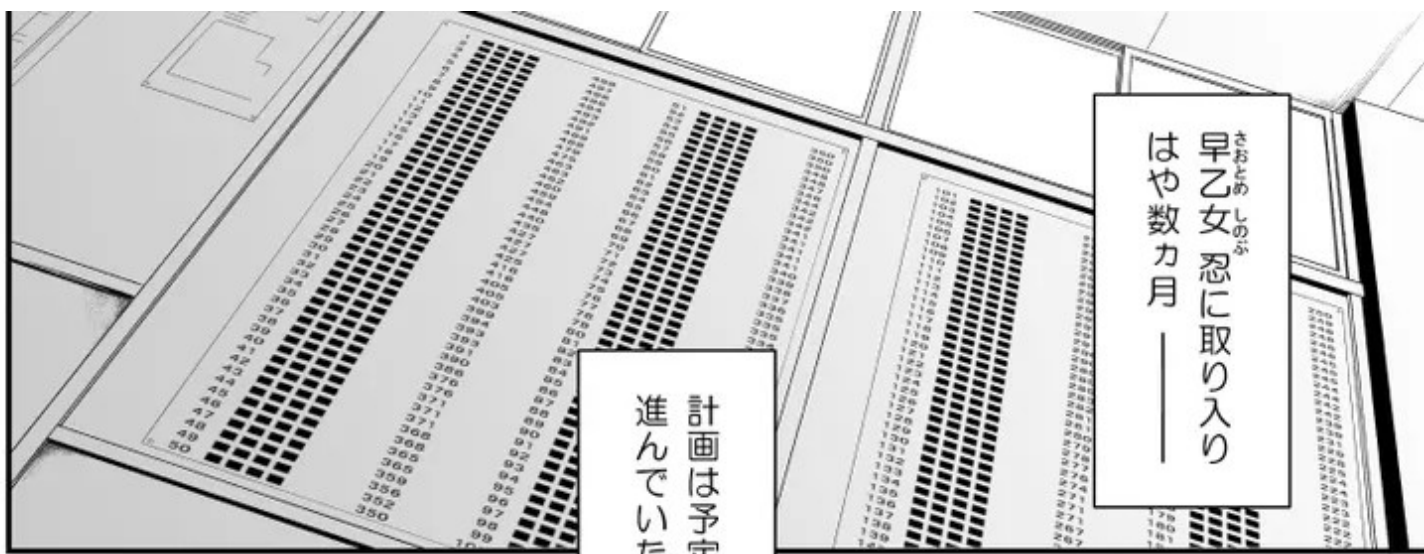
ただ、母を死に追いやった(と思い込んでいる)修一がテレビやネットで笑顔で活動しているさまを見て
本心を隠し、いわゆる八方美人を演じることが結果的に勝ち組になるのだなと思い至った。
ゆえに優里奈は、そのうちに秘めている想いとは裏腹に人当たりの良い優等生を演じた。

そんな時、テスト結果の順位表に目をやっていると憎い男と同じ苗字を見つけた。まさかとは思いつつも調べると
早乙女 修一の息子であることが分かった。

そう認識したとたん今まで内に秘めていた想いが暴発してしまう。

本来なら何の関係もないあの男の犠牲者ともいえる子供(忍)に復讐の矛先を向けてしまった。
ただそれでも「学校の成績を下げさせて間接的に恥をかかせる」その程度のことでは済ませるつもりだった。

つもりだった……。



さおとめしのが
早乙女忍に取り入り
はや数カ月――

計画は予定通りに
進んでいた



染み付いた習慣くせというものは
そう易々と
消えるものではない

ただ

生まれた頃からなら
尚のこと……



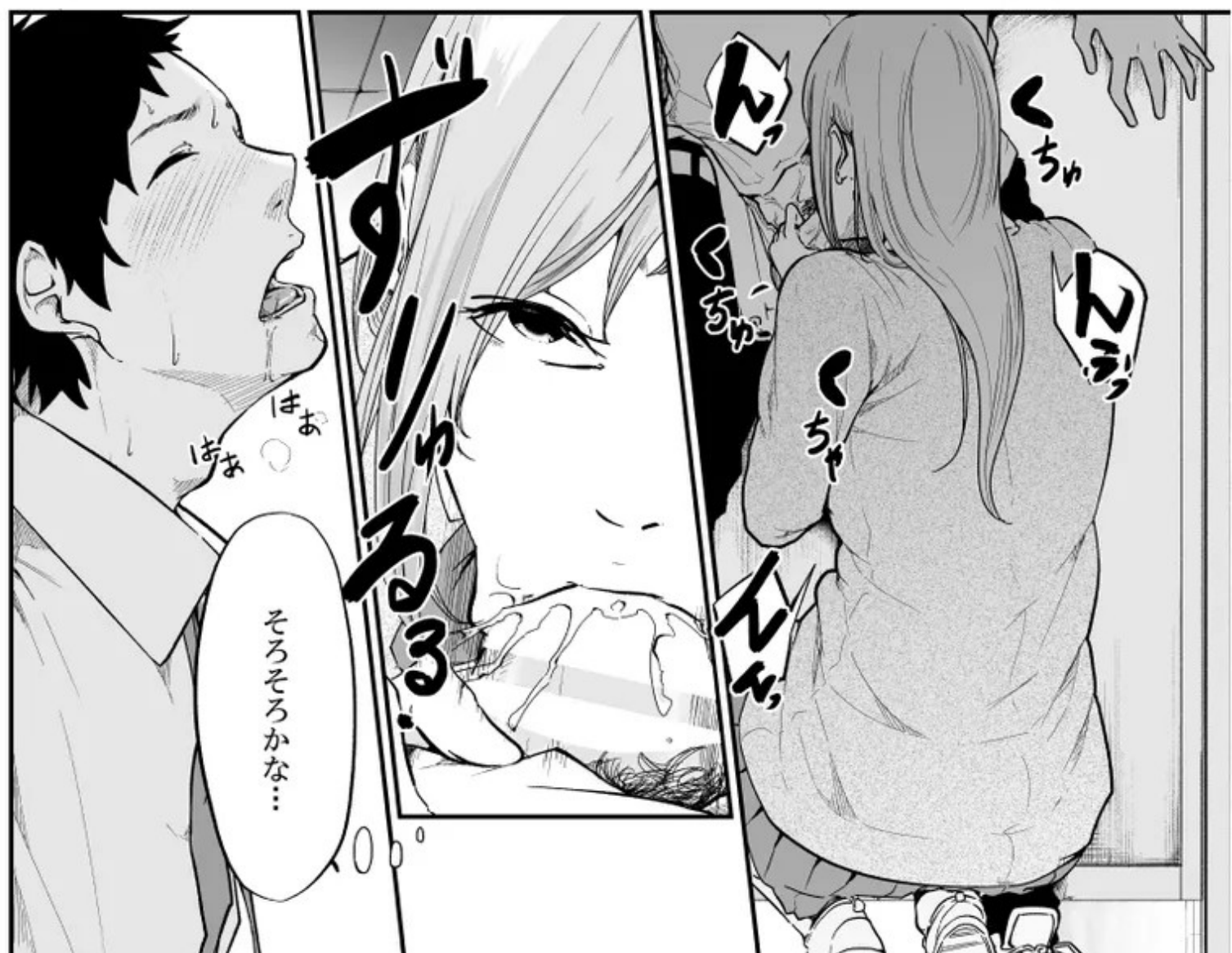
だから
調教する

頭の中の
隅の隅まで…

何度も何度も丁寧に…









人は我慢すればするほど
その部位に意識が集中する

それゆえに

与えられた刺激は
より鮮明に脳へと刻まれ

性への欲求も
何倍にも膨れ上がる





まあで勉強したいなら
入れっ、ないほうが

んあ

はよ

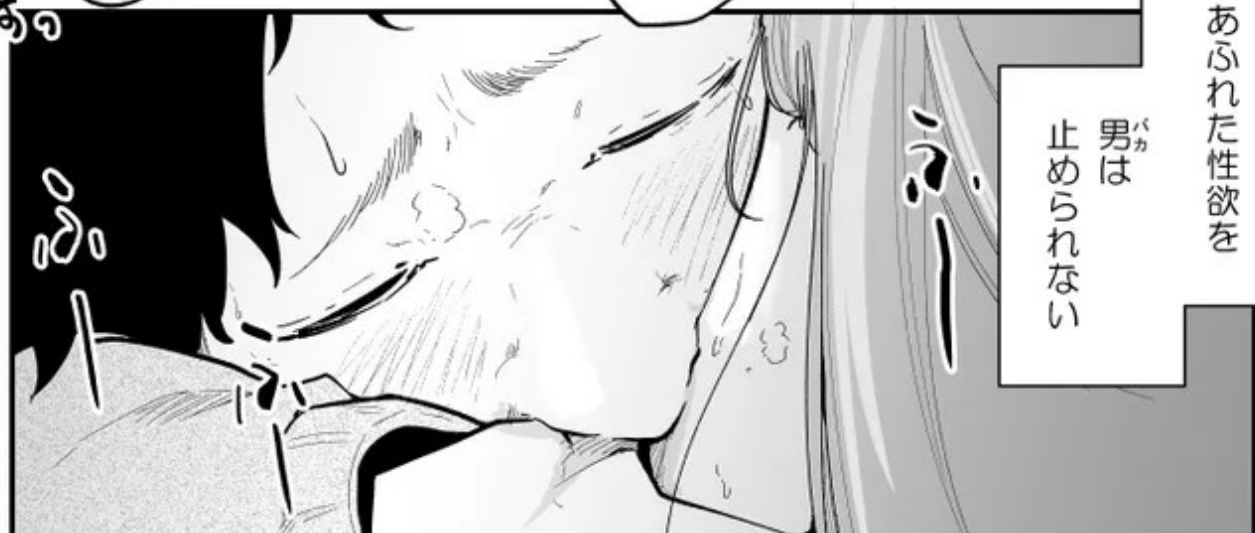


このまま続きを
楽しんでもいいし

チャイムが鳴るまで
見てるだけでもいいよ



良いと思うけど…



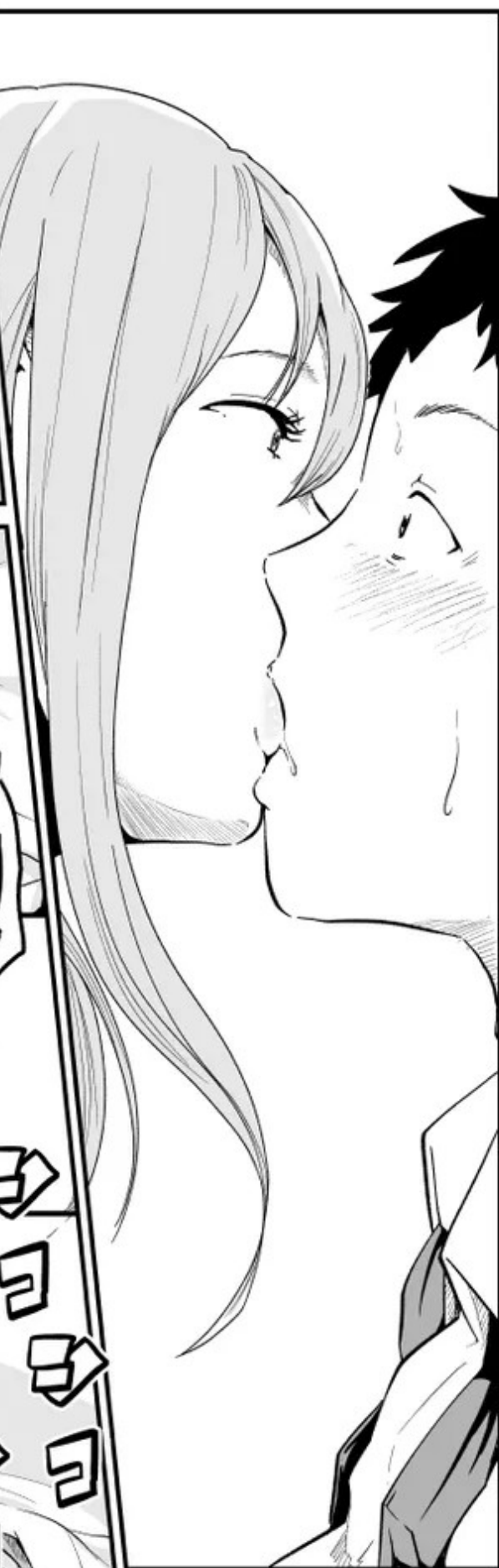


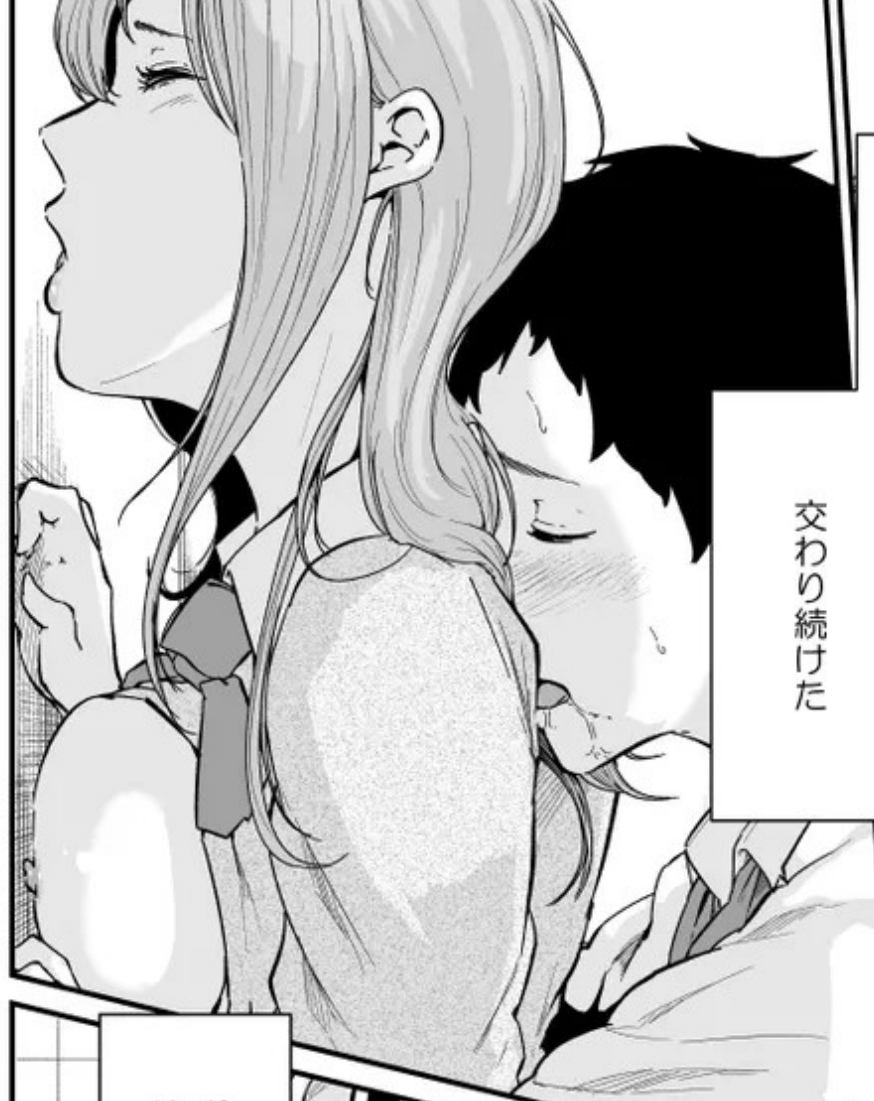
墮落への道を
自ら進む

そうやって
少しずつ
体に癖がついてい









その日私たちは
日が暮れるまで

交わり続けた



徐々に
壊れていく彼に



私は笑みを
押えられなかった



この時、鏡を見ることが
できていたなら

気がつけたのかも
しれない

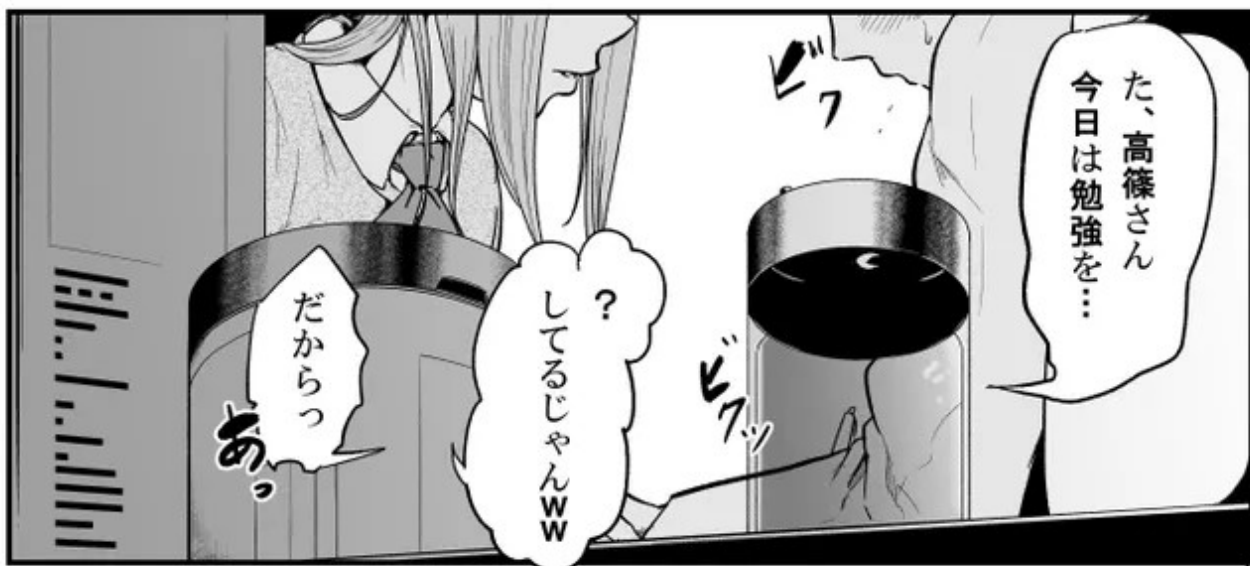
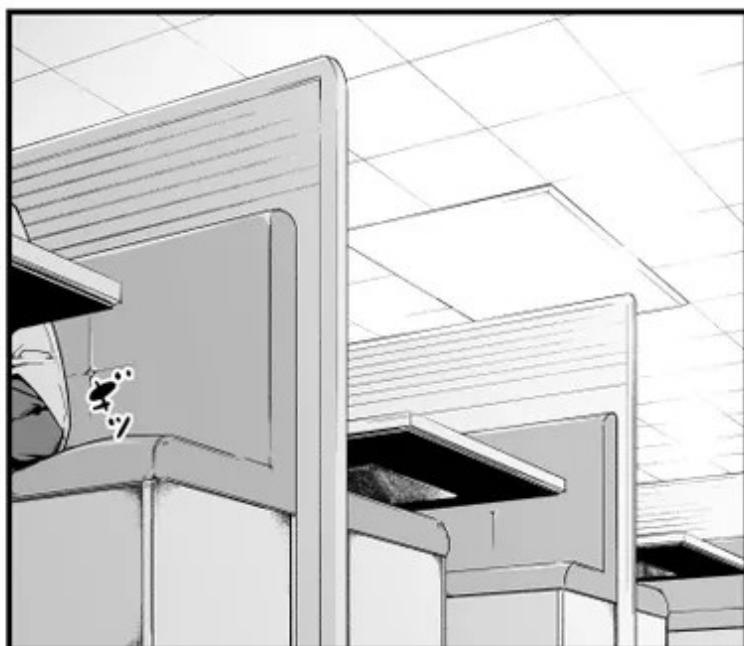


私があの人と
同じように

「墮とすじとを
楽しんでいる」

うさぎうさぎ……











私も笑って
いたのだろうか



母を弄^もんだ
あの男のように



ああ……気持ち悪い

あゝあゝあゝ

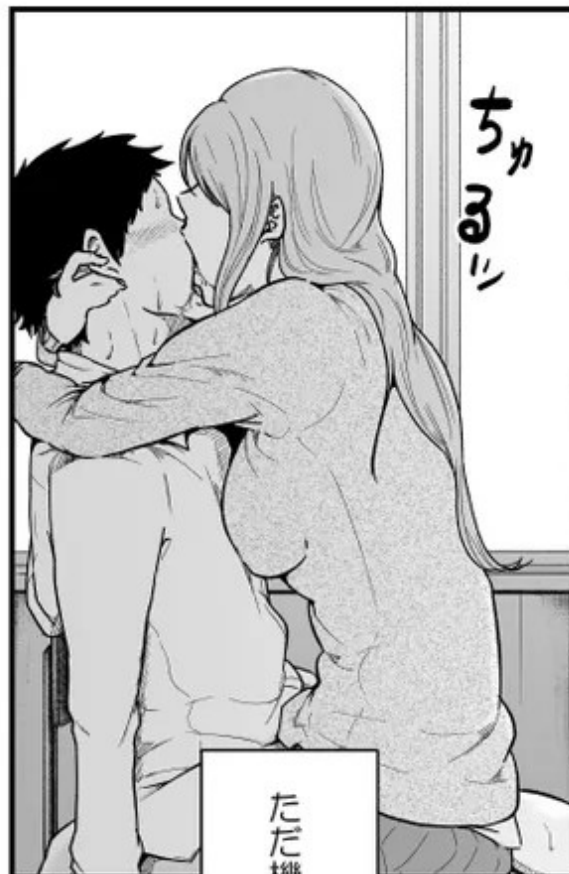
ぐわっ

グッ

グッ

グッ

グッ



ちゅっ

ただ機械のように



ド
クッ

ド
クッ

楽しんではいけない



はあ

はあ

やるべきことを
こなすだけ



ズッ



ド
クッ





人は簡単に壊れて
しまうことを

私は知っている

母が愛に狂ったように

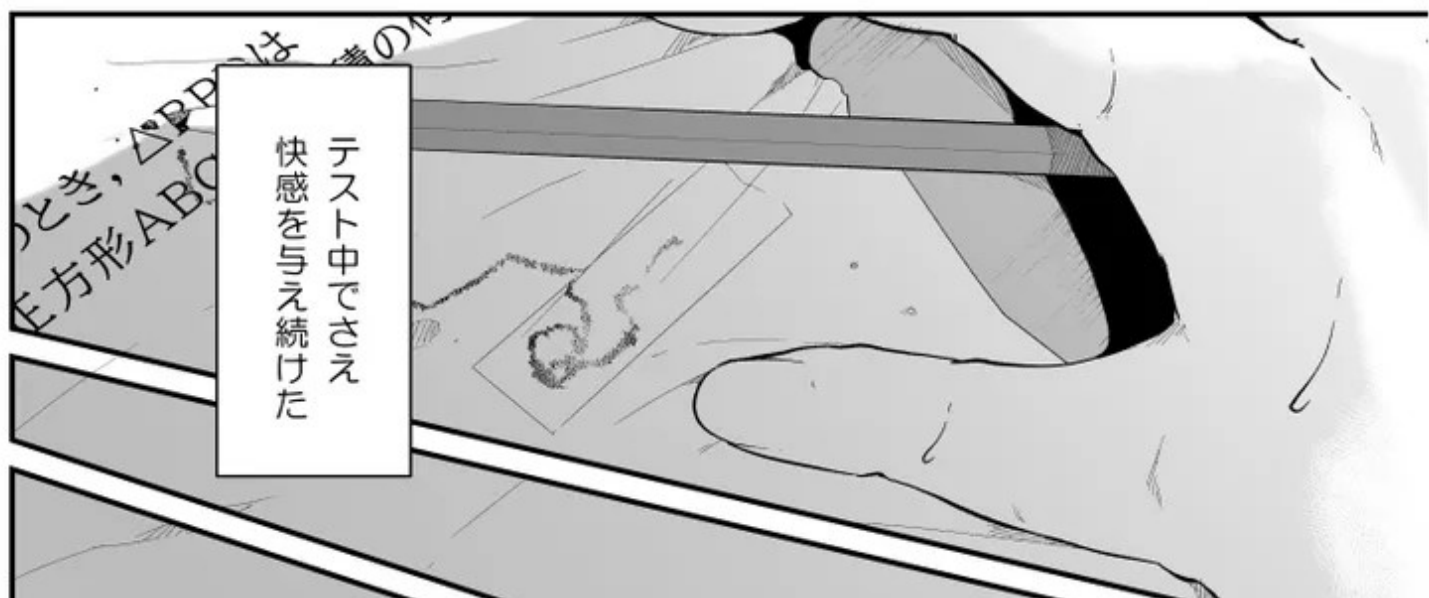


た、たか…
ほら力抜いて



快樂もまた
人を容易に狂わせる

ああああ





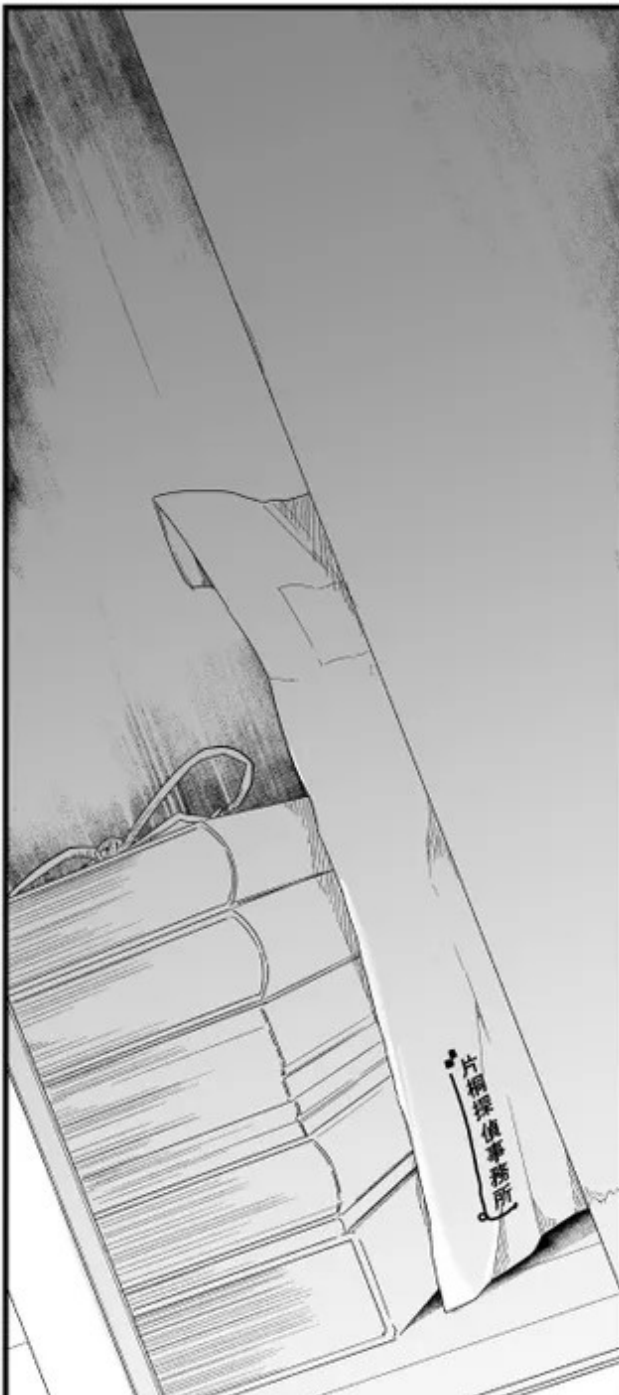
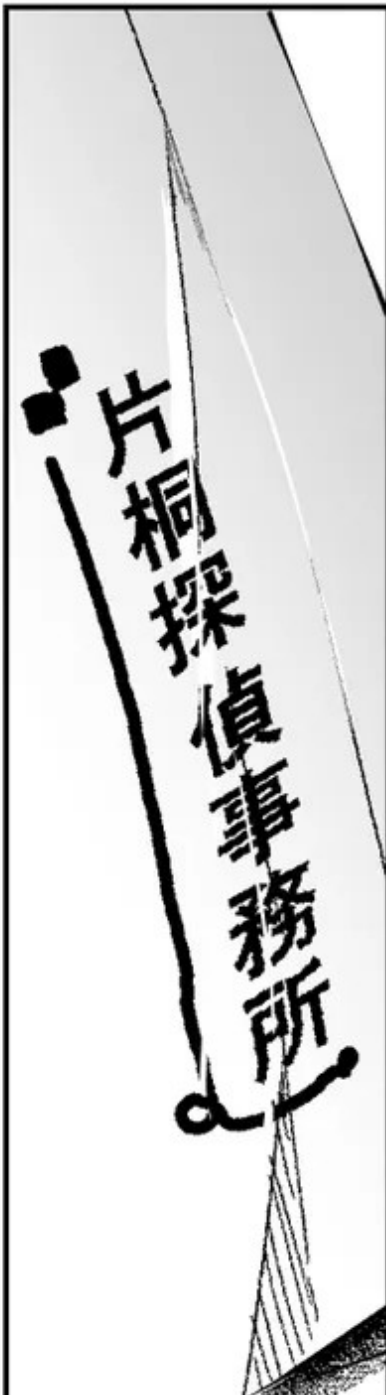
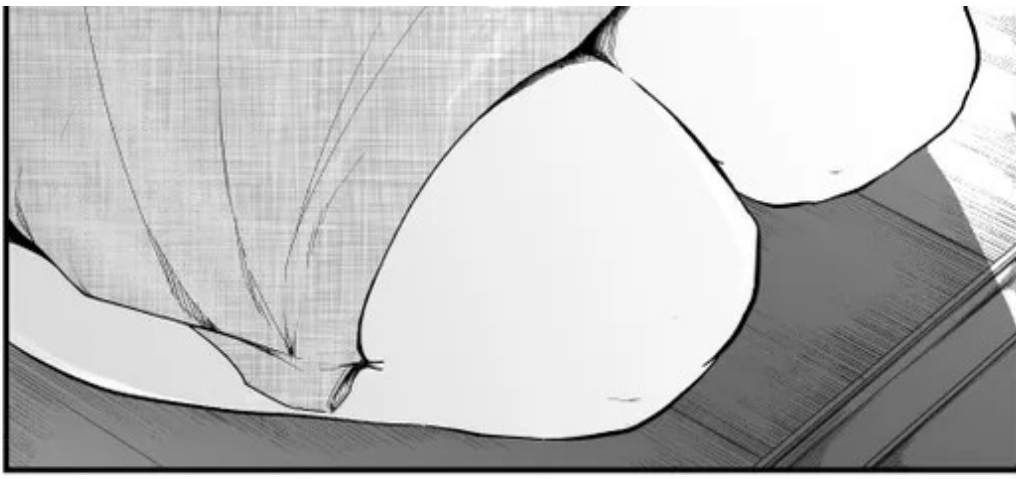
もう少しゆっくり
浸ける予定だったのだけれど…

どうせやることは
変わらない



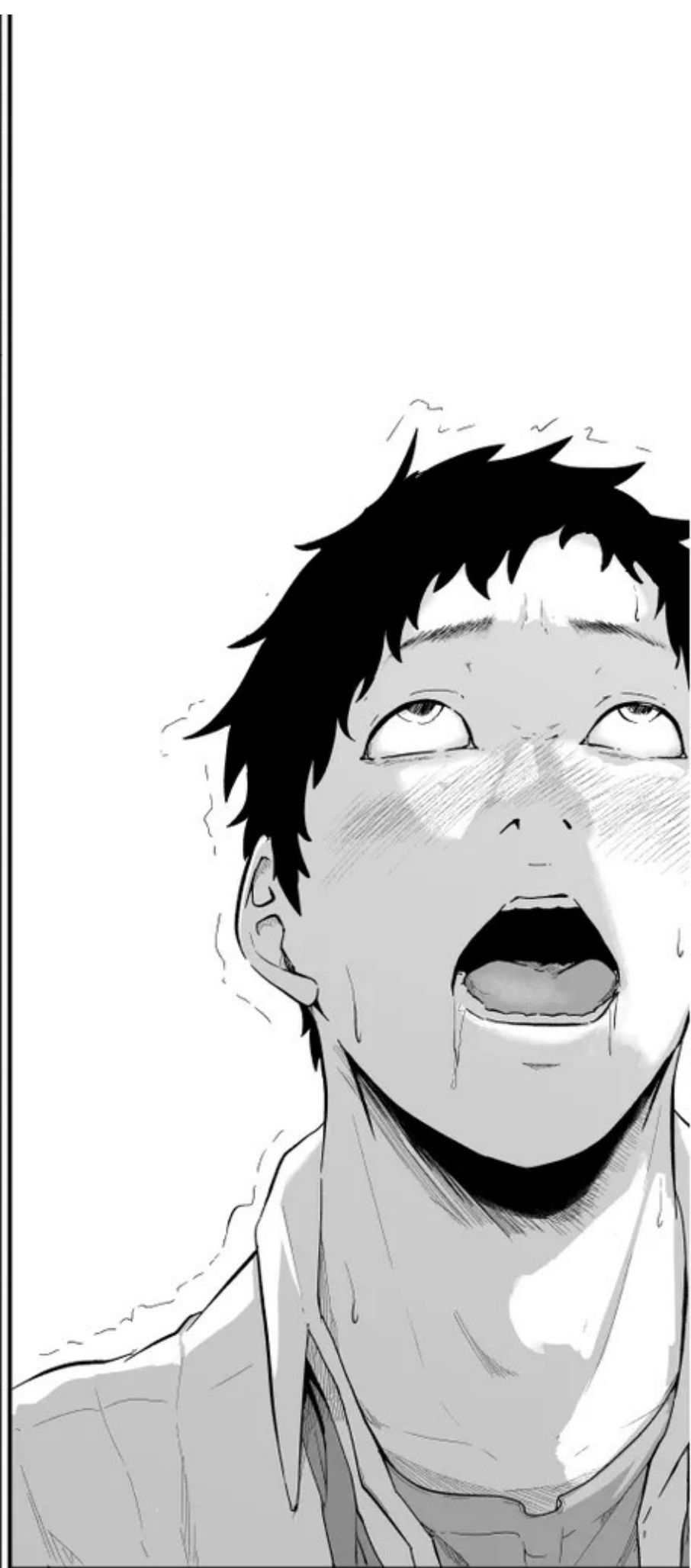
私は終わらせること
を決意した



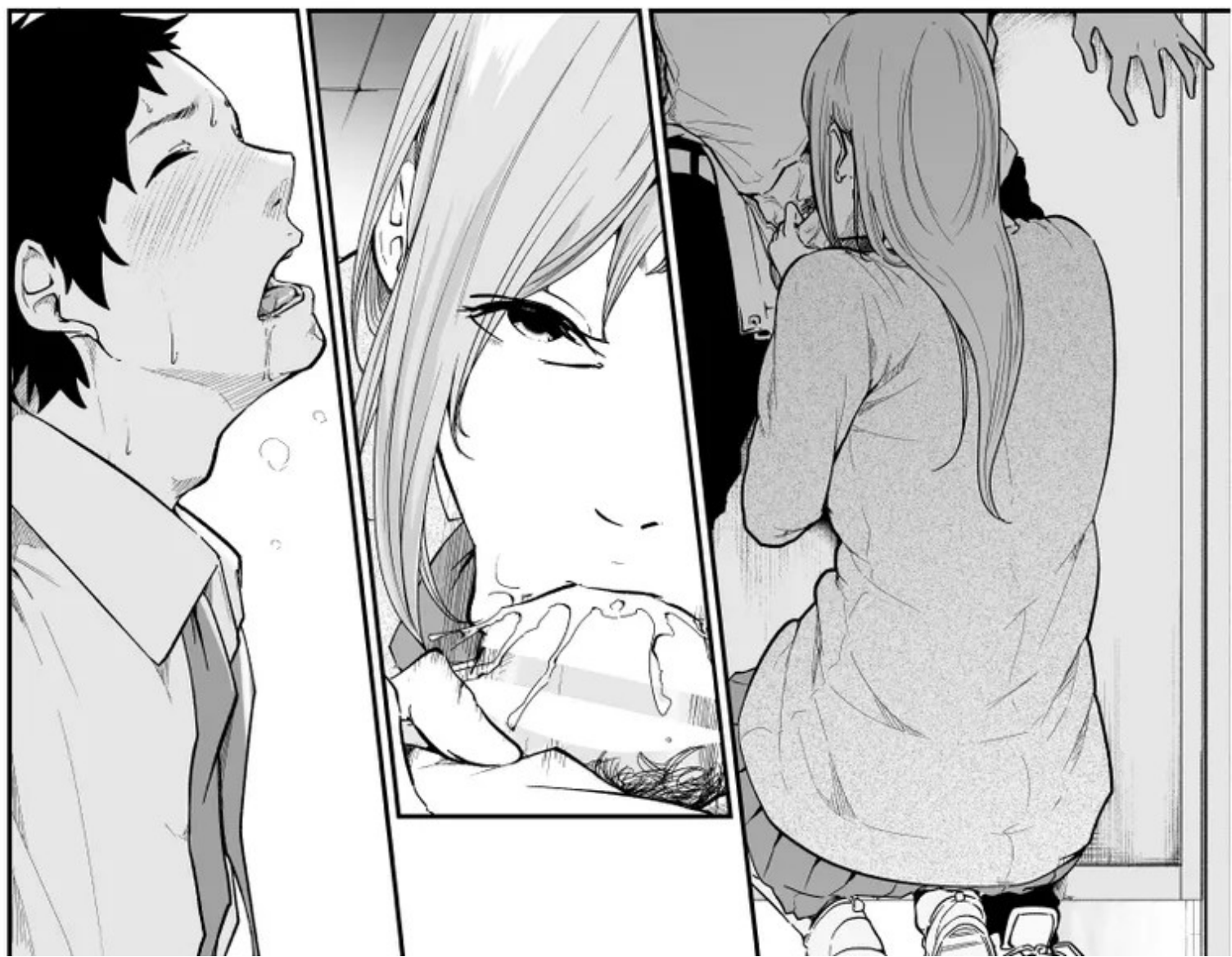


104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136	137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150			
151	152	153	154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181	182	183	184	185	186	187	188	189	190	191	192	193	194	195	196	197	198	199	200
201	202	203	204	205	206	207	208	209	210	211	212	213	214	215	216	217	218	219	220	221	222	223	224	225	226	227	228	229	230	231	232	233	234	235	236	237	238	239	240	241	242	243	244	245	246	247	248	249	250
251	252	253	254	255	256	257	258	259	260	261	262	263	264	265	266	267	268	269	270	271	272	273	274	275	276	277	278	279	280	281	282	283	284	285	286	287	288	289	290	291	292	293	294	295	296	297	298	299	300
301	302	303	304	305	306	307	308	309	310	311	312	313	314	315	316	317	318	319	320	321	322	323	324	325	326	327	328	329	330	331	332	333	334	335	336	337	338	339	340	341	342	343	344	345	346	347	348	349	350
351	352	353	354	355	356	357	358	359	360	361	362	363	364	365	366	367	368	369	370	371	372	373	374	375	376	377	378	379	380	381	382	383	384	385	386	387	388	389	390	391	392	393	394	395	396	397	398	399	400
401	402	403	404	405	406	407	408	409	410	411	412	413	414	415	416	417	418	419	420	421	422	423	424	425	426	427	428	429	430	431	432	433	434	435	436	437	438	439	440	441	442	443	444	445	446	447	448	449	450
451	452	453	454	455	456	457	458	459	460	461	462	463	464	465	466	467	468	469	470	471	472	473	474	475	476	477	478	479	480	481	482	483	484	485	486	487	488	489	490	491	492	493	494	495	496	497	498	499	500

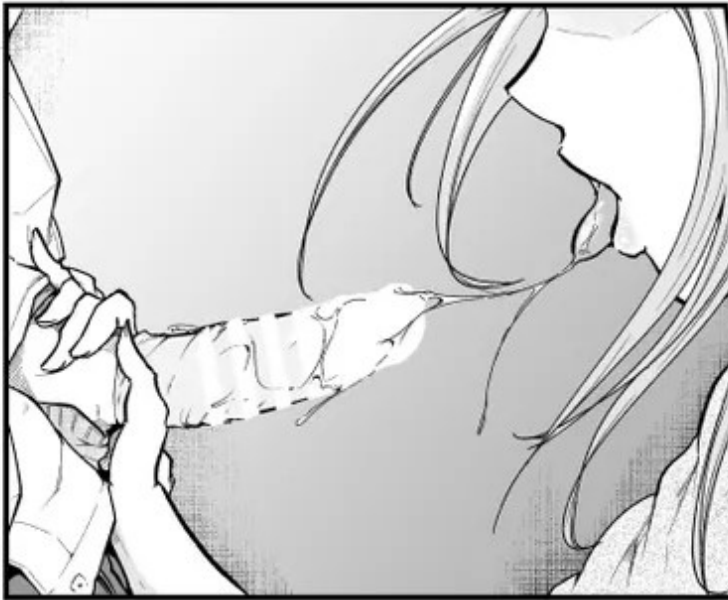


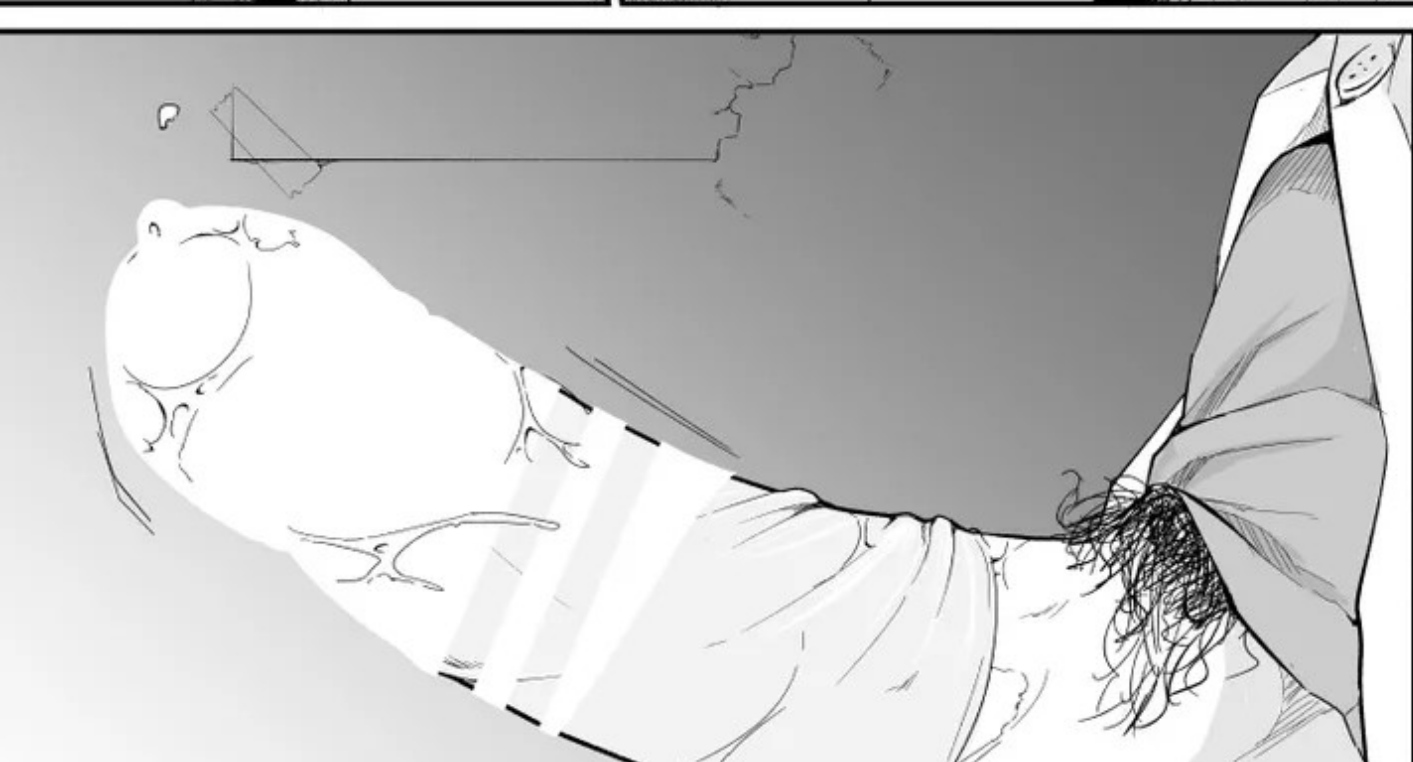


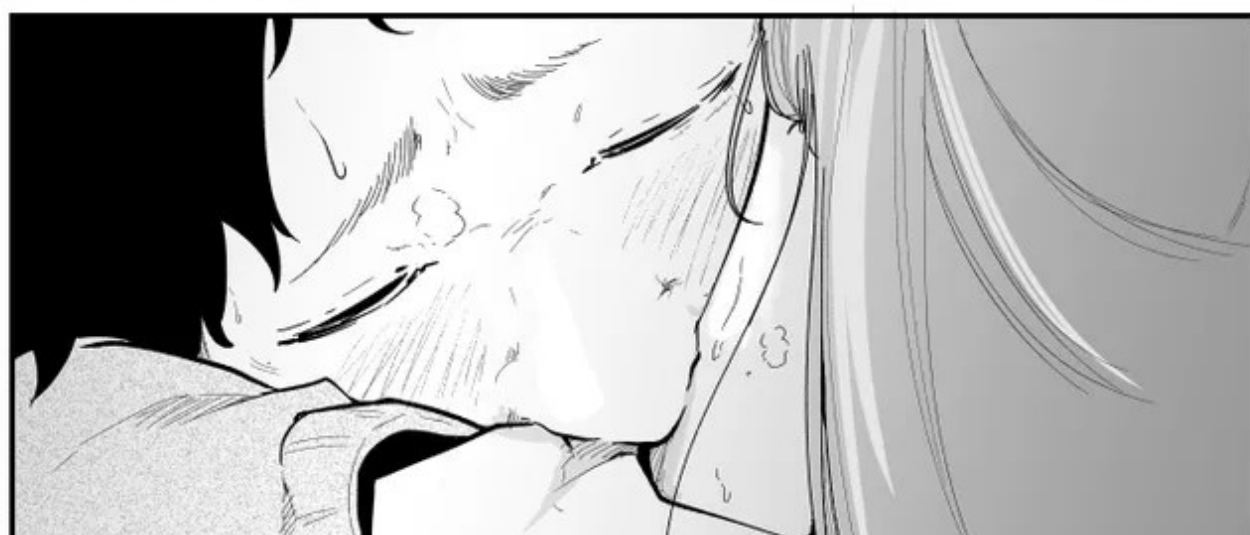








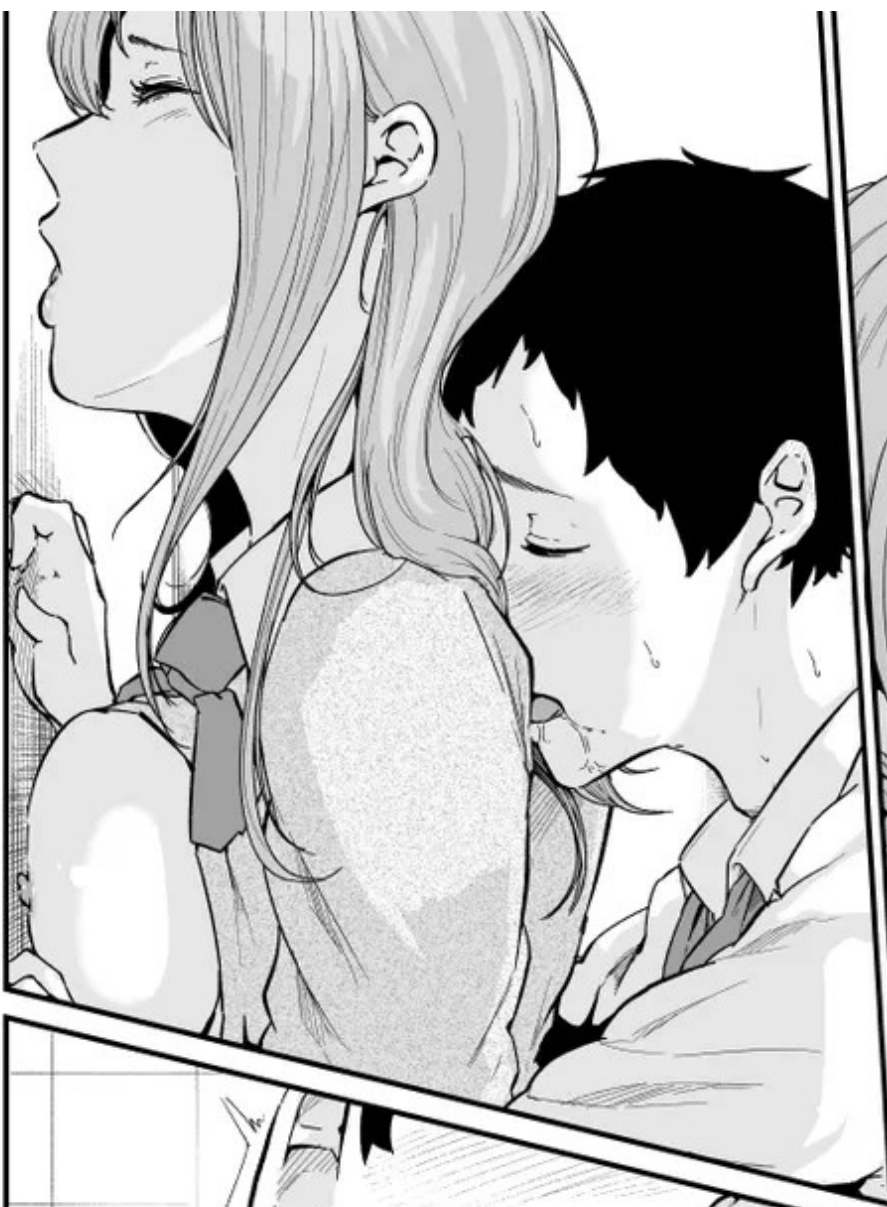


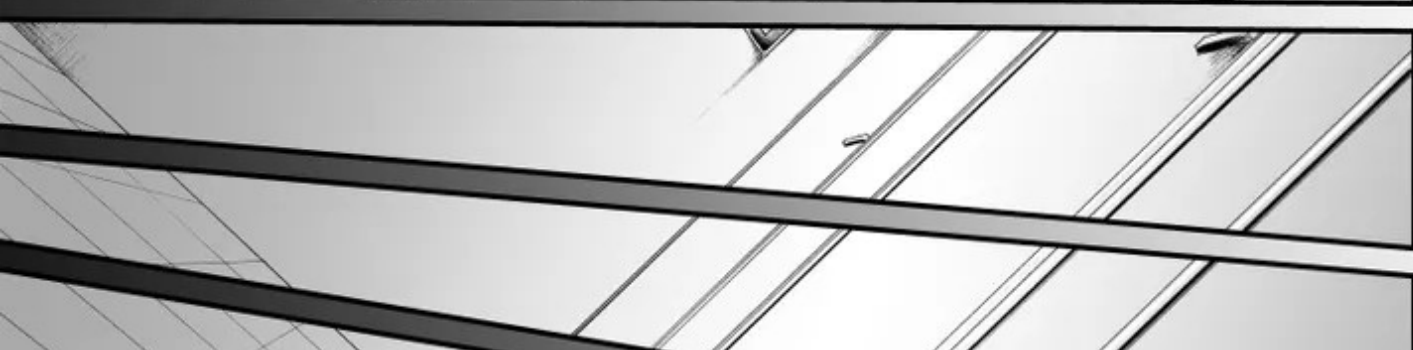


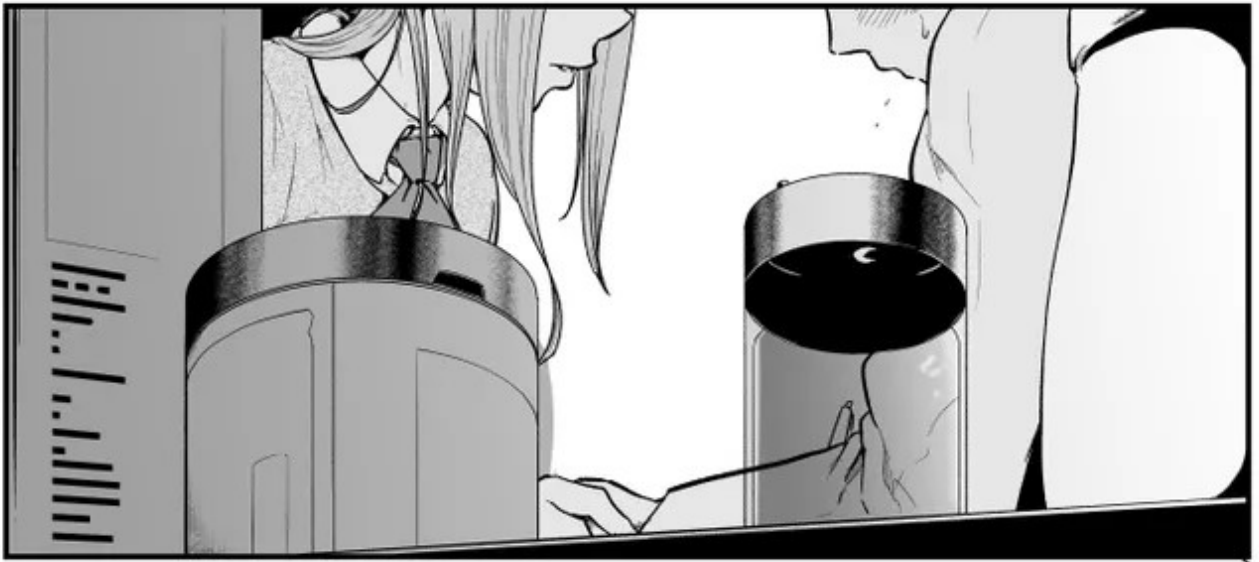










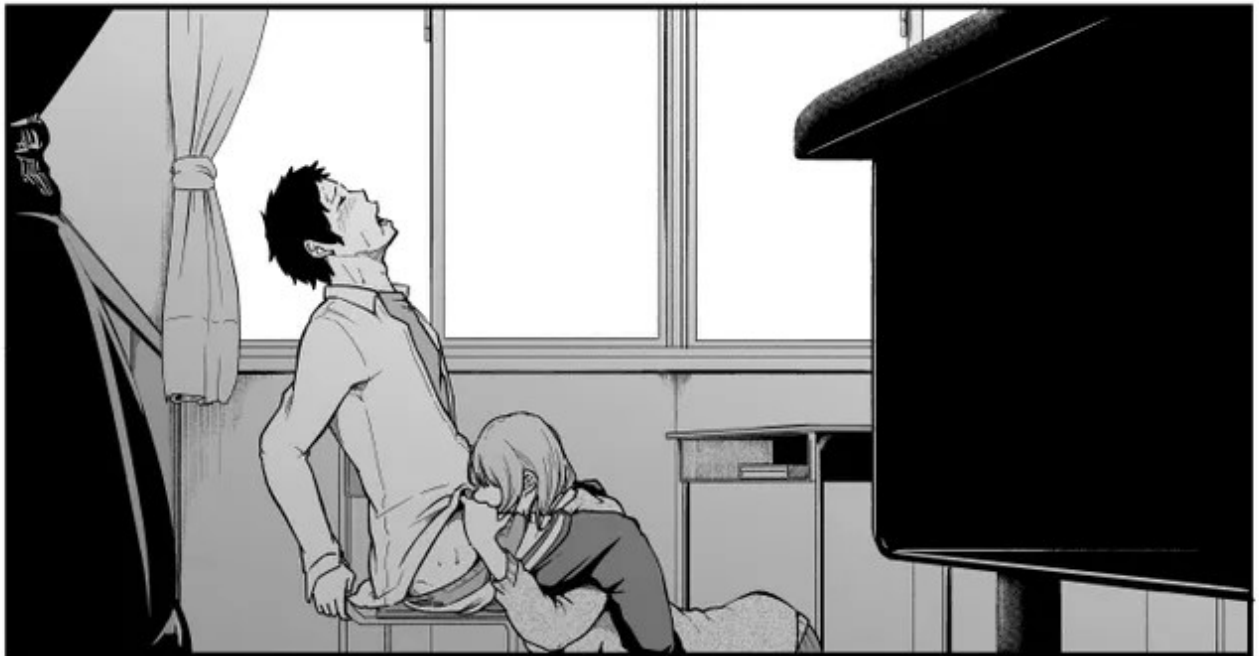






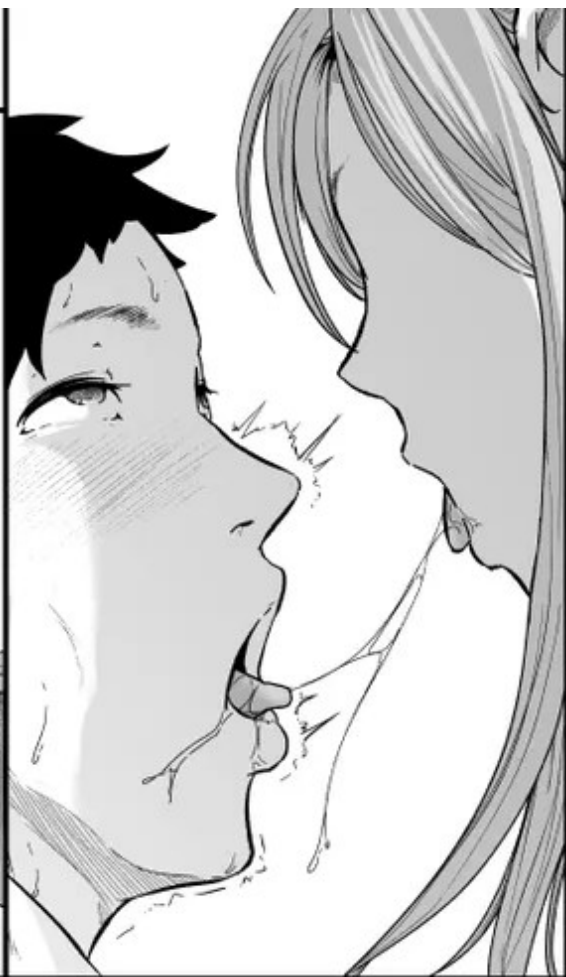
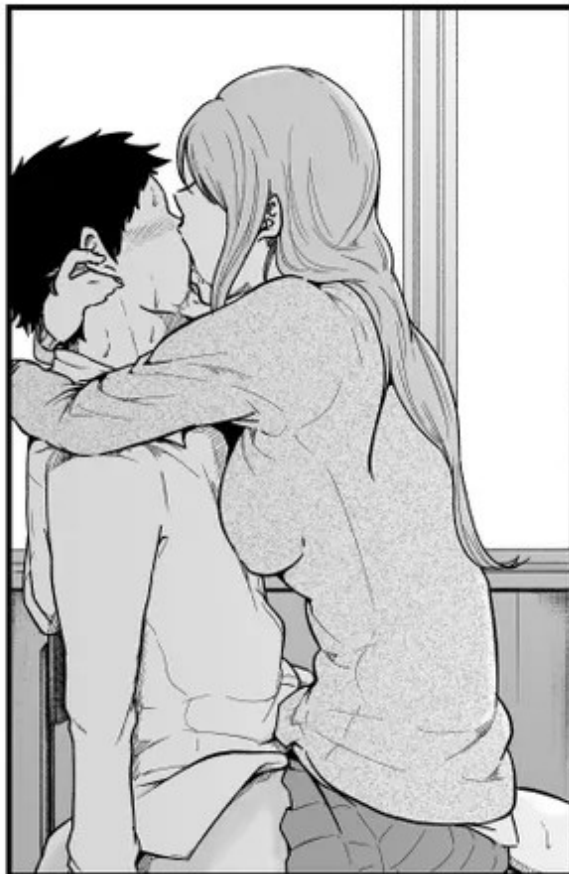


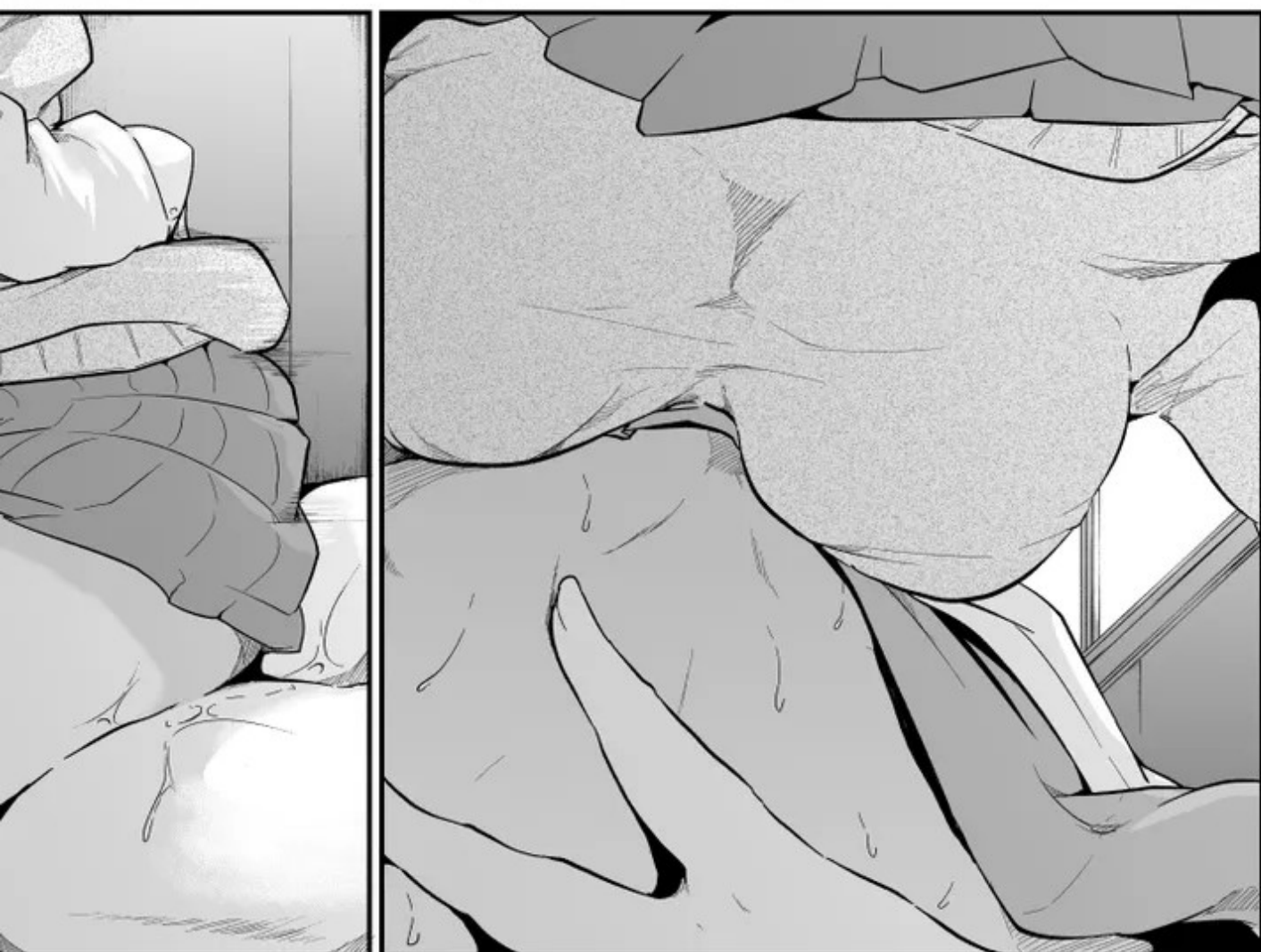




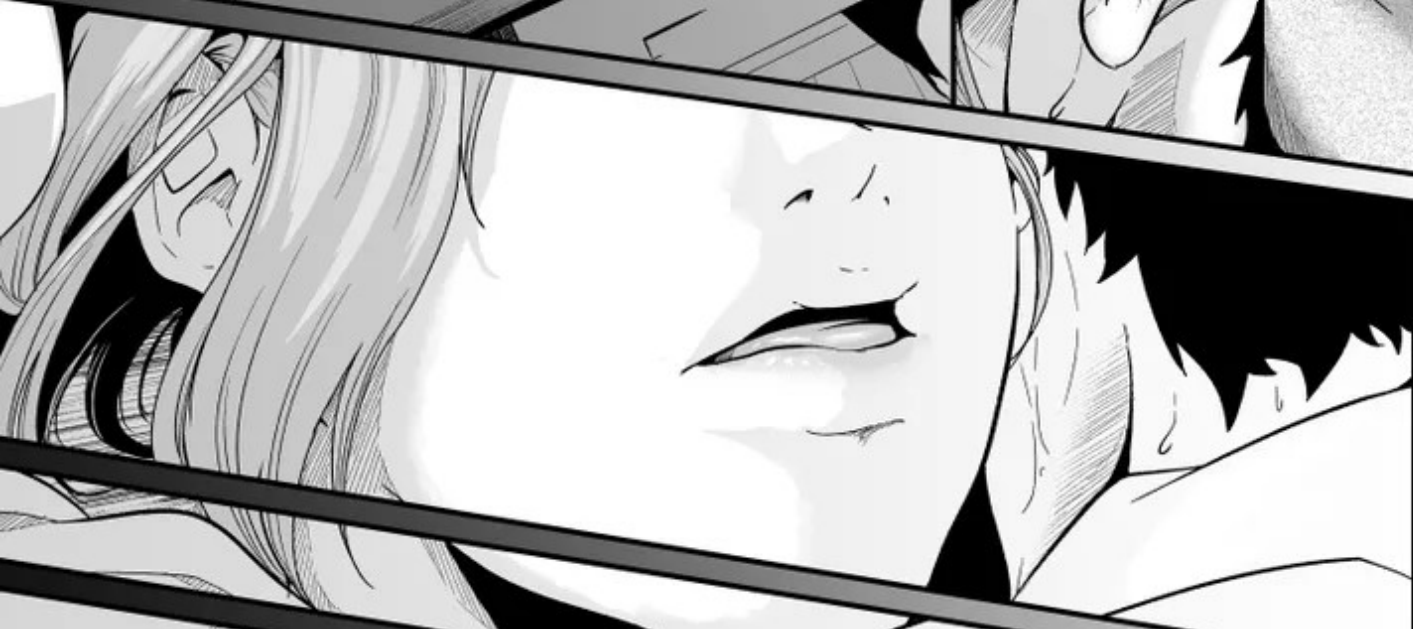




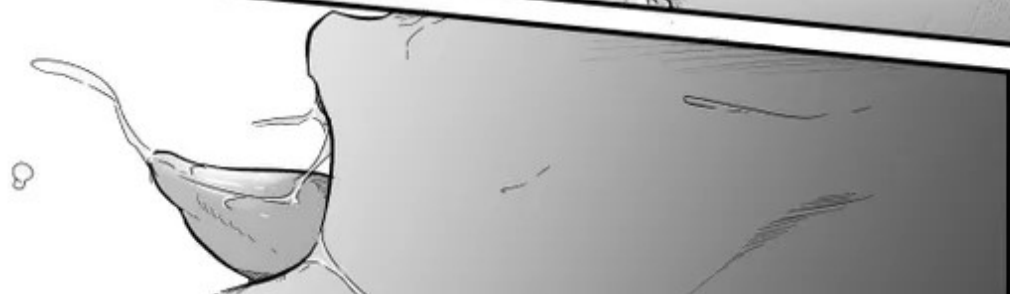


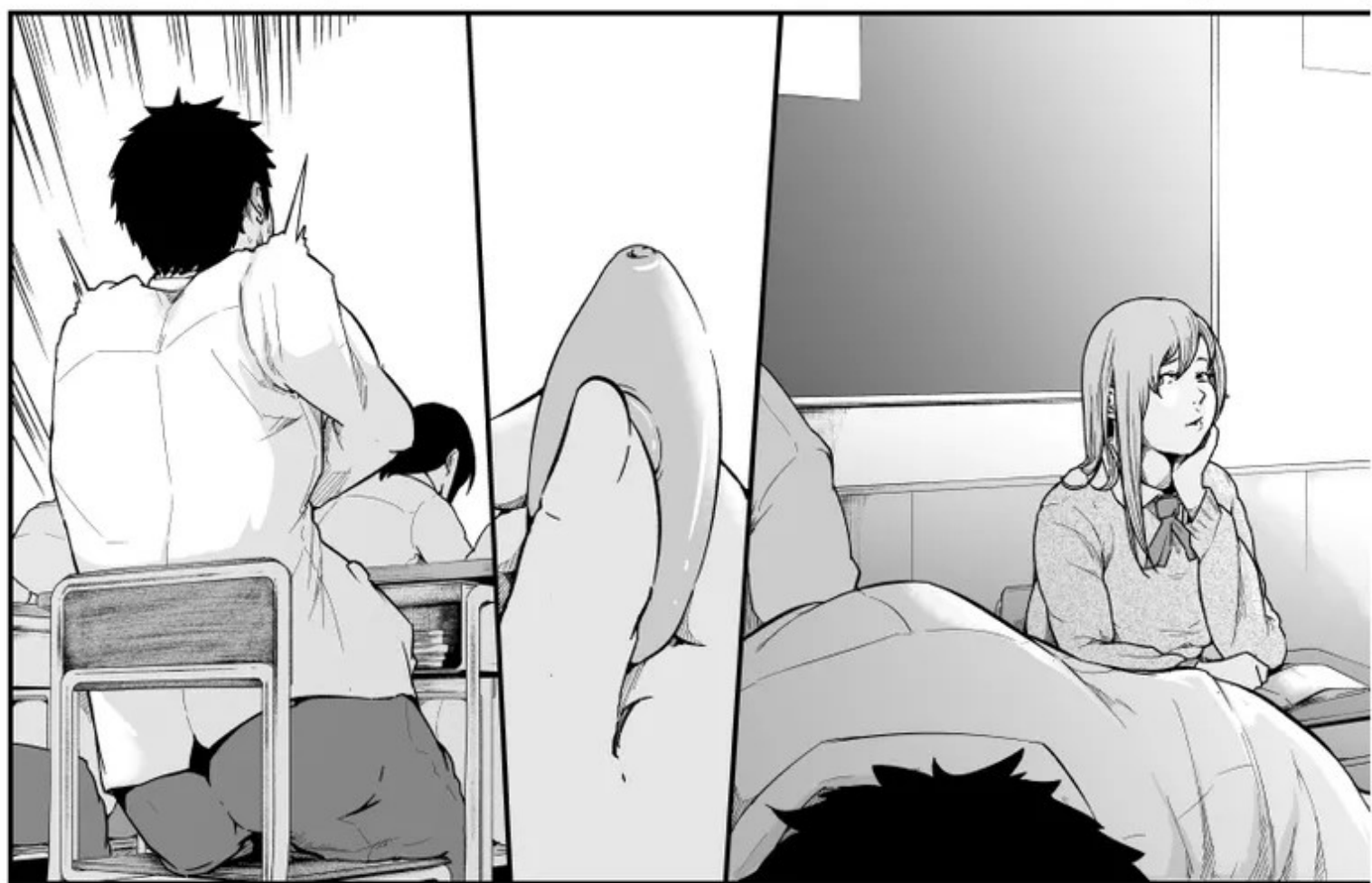
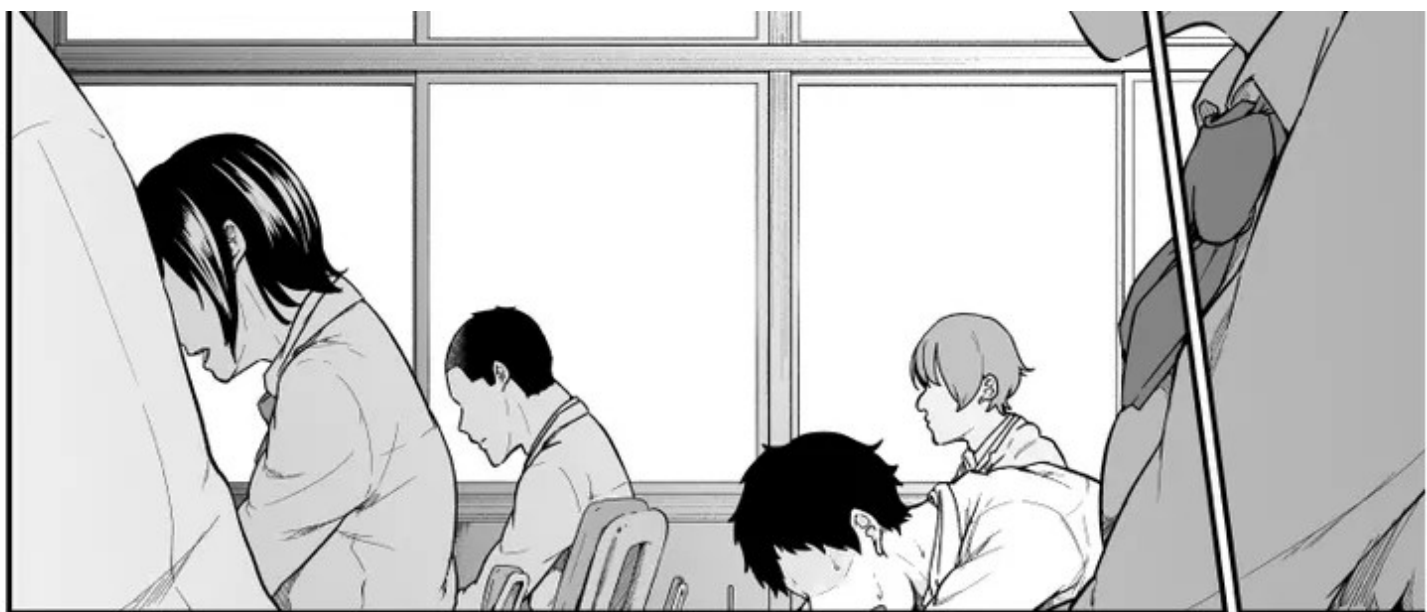








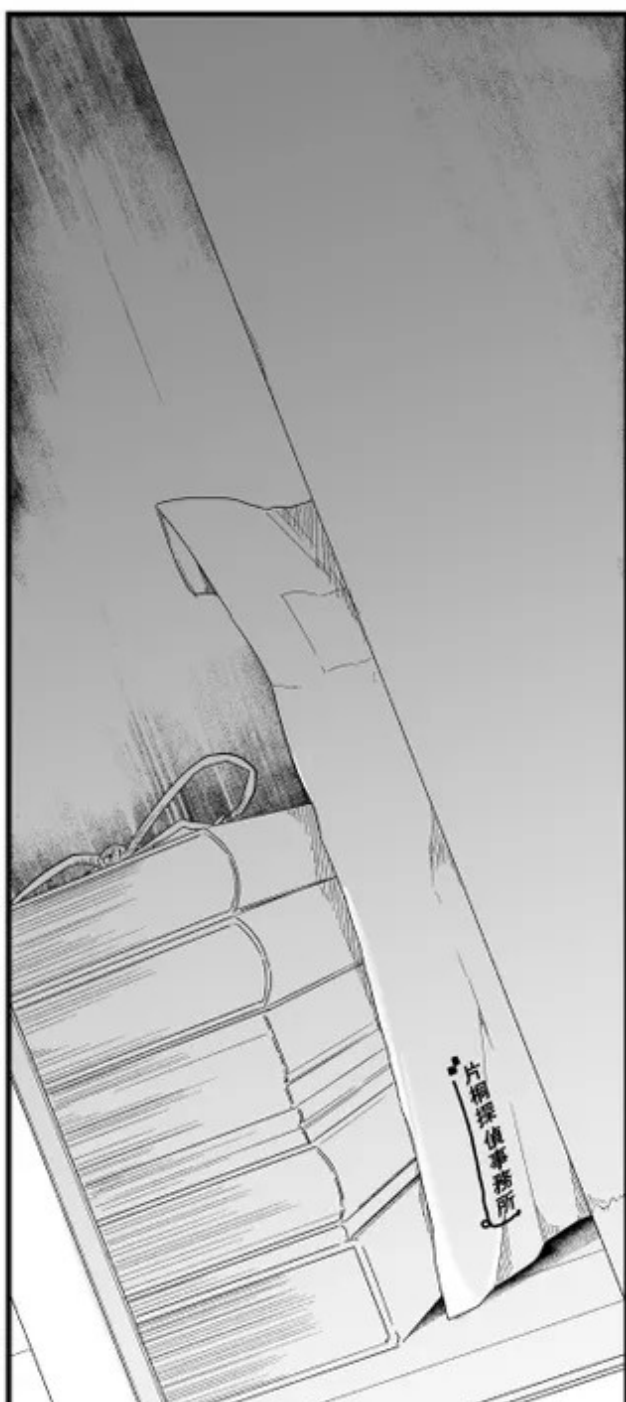
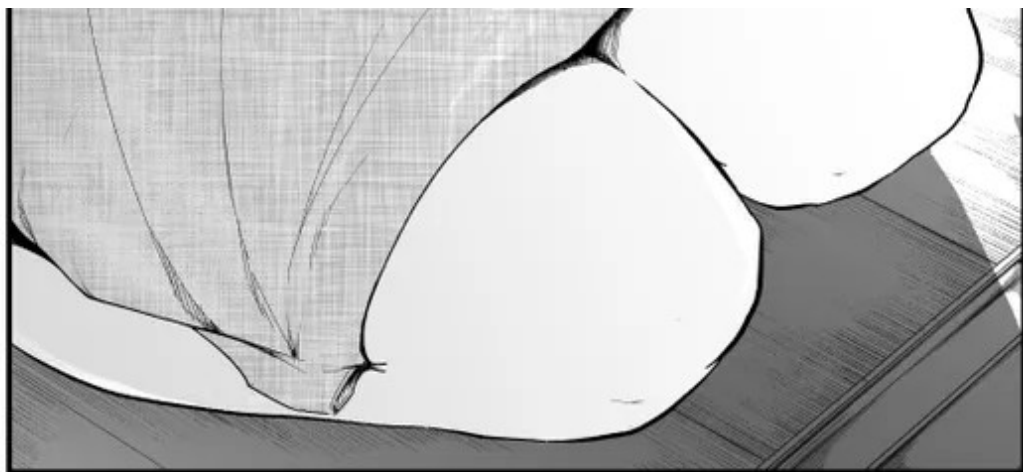














Twitter: @MonochroDouzin

修正方法を変えてみました。
白塗りは、せっかく描いた部分を完全に消してしまうので
辛いですが、モザイクに比べ、周りの作画を壊さないので……

あとがき

ご購入したことありがとうございます。
いかがでしたでしょうか。
ご満足いただける内容であれば幸いです。

いやはや、この作品は前後編で描き上げるつもりが色々
話が膨れ上がってしまい中編を挟むことになりました。
やはり、行為シーンよりストーリーに重きを置こうと
すると長くなってしまいがちですね(反省)。

シリアスな展開を描きつつ、女性に虐められたいと
いうのはなかなか難しいものです……。

作品に関してご意見ご感想などありましたら
コメントしていただけると嬉しいです。
お気軽にどうぞ。

さて、次回以降の作品につきまして、この話の続きと
行きたいところなのですが……。随分と期間が開いて
しまったため、描きたい作品が「積みブラ」ならぬ
「積みネーム」状態になっておりまして……(泣)
「単話の作品」↓「スパイマネジメント3」↓
「遊びのつもりだったのに後編」の順で仕上げてたいと
思います。次の単話はスパイシリーズがお好きな方に
は気に入ってもらえると……思いますw。

モノクロイド

遊びのつもりだったのに(中編)

2020年11月

遊びのつもりだったのに

作者… モノクロイド

シリーズ… SchoolMemorys

本作品はフィクションであり
実在の人物、団体などとは関係ありません

本書の無断複写・複製・改ざん
web上へのアップロードを
禁止しています。



